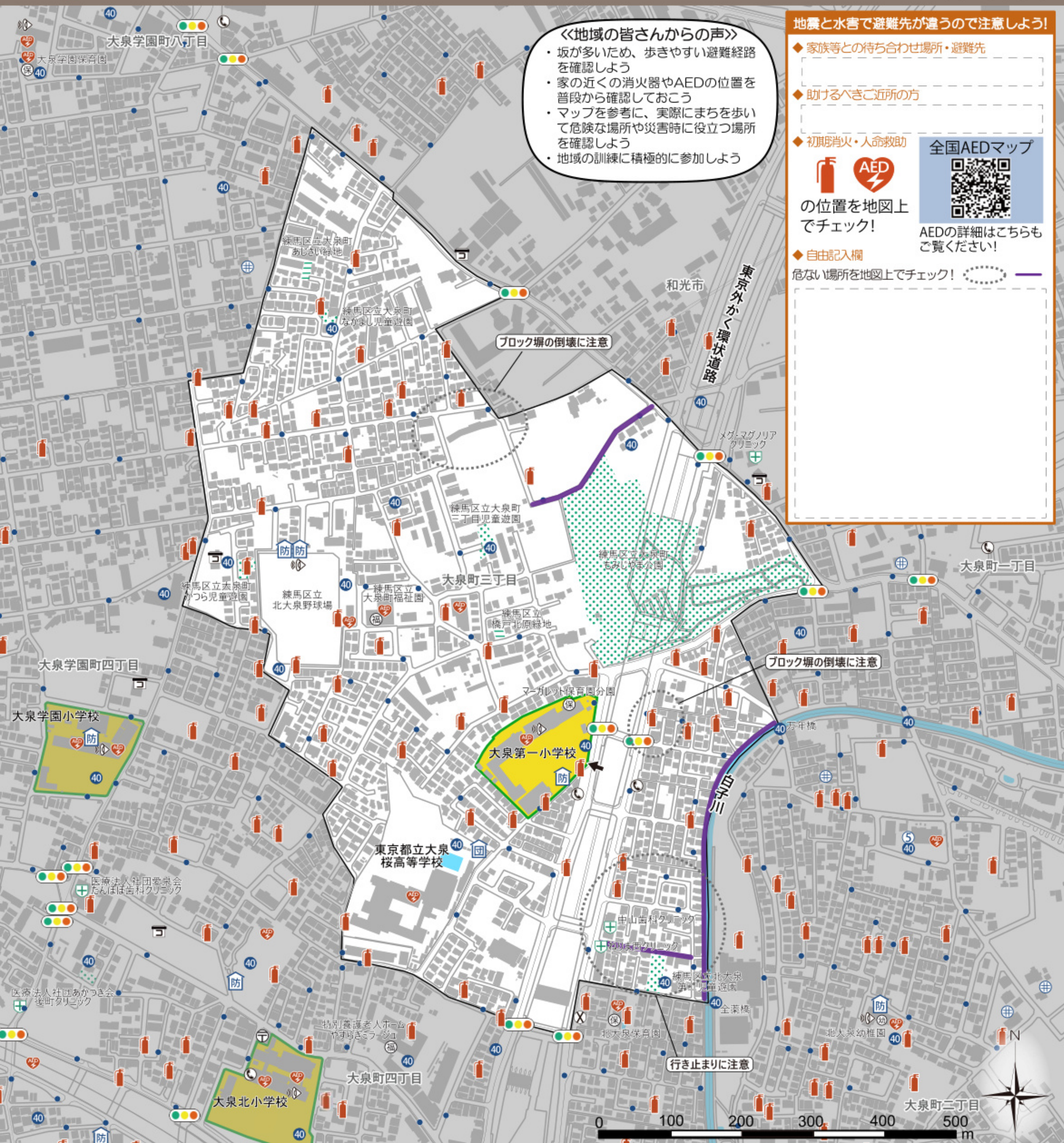




「地域の皆さんからの声」

- ・坂が多いため、歩きやすい避難経路を確認しよう
- ・家の近くの消火器やAEDの位置を普段から確認しておこう
- ・マップを参考に、実際にまちを歩いて危険な場所や災害時に役立つ場所を確認しよう
- ・地域の訓練に積極的に参加しよう

地震と水害で避難先が違うので注意しよう!

◆家族等との待ち合わせ場所・避難先

◆助けるべき近所の方

◆初期消火・人命救助



の位置を地図上でチェック!

全国AEDマップ



AEDの詳細はこちらもご覧ください!

◆自由記入欄

危険な場所を地図上でチェック! ○ ○ ○

各種施設、資源等

- 交番
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局

もしものときの避難する場所等

○必ず確認してほしい場所

- 避難拠点 (区内で震度5弱以上で開設)
- 地震発生時に注意が必要な道 (せまい道や急な坂道)
- 避難拠点入口
- 公園・児童遊園
- 緑地等
- 診療所、病院

災害時に役立つ情報、資源

○必ず確認してほしい場所

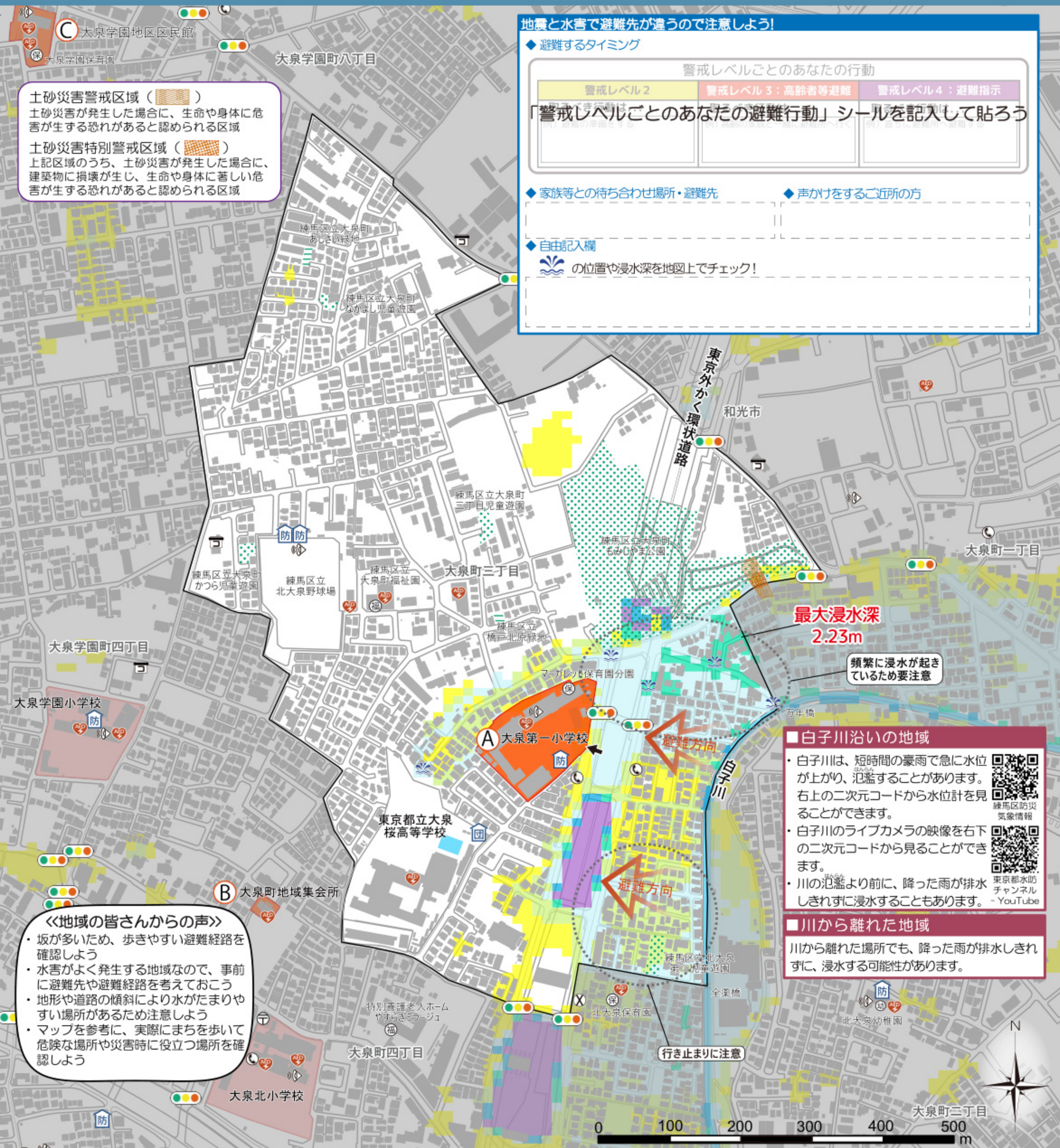
- 消火器
- AED (事前に使える時間帯を確認しておきましょう)
- 防災会防災資器材格納庫
- 消防分団資器材庫
- ミニ防災井戸 (生活用水)
- 地下貯水槽 (5 t)
- 消火用貯水槽 (40 t 以上)
- 消火栓
- 防災無線 (放送塔)

防災資器材格納庫には、救出救護や初期消火のための資器材が入っています。防災資器材格納庫の鍵は防災会会長が保管しています。

- (例) 担架・レスキューカー
- バール・ハンマー
- 救出・救護
- 軽可搬ポンプ
- スタンドパイプ
- 初期消火

貯水槽や消火栓は、初期消火を行う際の水源になります。





「地域の皆さんからの声」

- ・坂が多いため、歩きやすい避難経路を確認しよう
- ・水害がよく発生する地域なので、事前に避難先や避難経路を考えておこう
- ・地形や道路の傾斜により水がたまりやすい場所があるため注意しよう
- ・マップを参考に、実際にまちを歩いて危険な場所や災害時に役立つ場所を確認しよう

凡例

もしものときの避難する場所等

- 避難所**
※降雨状況や地域の危険性に応じ(A)→(C)の順に避難所を開設します。
避難の際は、必ず避難所の開設状況を区ホームページ等でご確認ください。
- 避難所(危険がさらに高まった場合)**
※危険がさらに高まった場合は開設することがあります。
- 避難所入口**

災害時に役立つ資源

- 防災会防災資器材格納庫
- 消防分団資器材庫
- AED
(事前に使える時間帯を確認しておきましょう)
- 準備・避難時に必要な情報**
- 防災無線(放送塔)
- 水が溜まりやすい場所

各種施設、資源等

- 交番
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局
- 公園・児童遊園
- 緑地等

浸水深の目安

浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m～5.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.1m～0.5m未満



浸水程度の目安

- 2階の屋根以上が浸水する
- 2階の軒下まで浸水する
- 2階の床まで浸水する
- 1階の軒下まで浸水する
- 床上浸水(大人の膝までつかる)
- 床下浸水(大人の膝までつかる)

